

教育相談
072-924-3892

情報推進
072-992-3910

研究・研修
072-924-0583

八尾市ホームページ <http://www.city.yao.osaka.jp/>
(「教育委員会」のページよりご覧ください)

平成27年度「理科大好き教員を目指す かがく実験教室」

日時 平成27年8月4日(火) 10:00~16:30

場所 大阪教育大学柏原キャンパス

講師 大阪青山大学 子ども教育学科 萩原 健二 さん
大阪教育大学教員

大阪府コアサイエンスティーチャー（府下の現職小中学校教員）



本研修は、先生方が理科の楽しさを再発見し、授業に活かしていくことをねらいとして大阪教育大学科学教育センターの協力をいただいて毎年実施しています。

この日、八尾市からは採用3年目の小学校の教員と希望する教員合わせて45名が参加しました。

前半は理科の指導法についての講義で「理科教育の基本と充実～『理科めっちゃ好き!』の子どもを育てる～」というテーマで主体的な問題解決の方法やそれに伴う言語活動例などを紹介し、子どもを理科好きにする授業のヒントが示されました。

後半は、23のテーマに分かれて実験研修がありました。液体窒素を使ってゴム風船のふくらみの変化を確かめ、空気の膨張、氷と水の変化と温度を実感する「低温の不思議」、硝酸塩にアンモニア水を混ぜ、茶褐色沈殿を作るところからはじまり、銀イオンとブドウ糖による科学反応を利用して、教材に利用できる平面鏡などを作る「鏡作り」、ふたの開いたペットボトルの底を切ったものを粘土に差し込み、その中にろうそくを立てて、アルミホイルのみを使って、ろうそくの火が消えないようにするためにはどうすればよいかについて考える「ものが燃えるときの工夫」など、「理科が大好きな子ども」を育てるためには、まず先生が理科を大好きになってもらおうということで、興味を引く実験が満載でした。

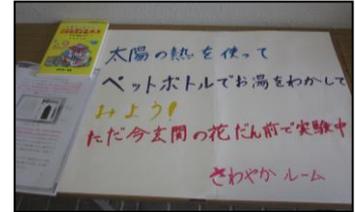


さわやかルーム夏休み学習会

適応指導教室「さわやかルーム」は、学校へ行こうと思っても行くことができない状態にある、八尾市立の小・中学校に通う児童・生徒に、安心できる空間を提供し、様々な活動を通じて、自立と集団への適応力を高めていくことで、学校復帰を支援しています。

長期休業中の生活リズムを崩さないよう、夏季休業中も定期的に学習会を行っています。その中で、夏の暑さを活かした理科実験「太陽の熱を使って、ペットボトルでお湯を沸かしてみよう！」を行いました。

来所された方にも見ていただけるように、実験器具や説明を用意したところ、興味を持って見ていただきました。実験後に、ペットボトルの水が自分たちが思ったよりも高い温度のお湯になり、驚くとともに夏の暑さを実感していました。



情報モラル研修

日時 平成27年7月29日（水）・30日（木）

場所 八尾市立教育サポートセンター コンピュータ室

講師 株式会社 JMC 中谷 侑子さん

本研修は、情報通信機器等の普及が著しく進む中、情報モラルについての考えを深め、指導力の向上を図ることを目的として、採用3年目の教員を対象に実施しました。

第1部「子どもの情報モラル」、第2部「先生の情報セキュリティ」の2部構成で、第1部では子ども達がスマートフォンやゲーム機など様々な機器を通じて簡単にインターネットに接続することができる状況にあること、そのためにネット上での誹謗・中傷などのトラブルに巻き込まれる可能性があることをたくさんの実例を交えて示されました。その反面、災害時の情報収集などネット利用にはよい所も多く、単に危険だから禁止するのではなく、正しい使い方を教えていくことが大切であり、授業参観等の機会を生かして保護者にもしっかり啓発していくことが大事である、という内容でした。

第2部では職員室の様子を描いたイラストをもとに個人情報適切に扱われているかグループで話し合うなど、教師として仕事をしていく中での情報セキュリティ対策について学びました。

子育て講座（ご案内）

日時：平成27年9月25日（金）10：00～12：00

場所：八尾市立教育サポートセンター 講座室

講演：「子どもと笑顔ですごせるように ～子どもの理解と支援のヒント～」

NPO法人ラヴィータ研究所子ども発達相談センター・リソース「和」 米田 和子さん

申込み：お電話にて八尾市立教育サポートセンター（072-924-3892）までご連絡ください。